

(15) 骨格標本

画像データ欄の「●」は、アーカイブ名「骨格標本」に画像を掲載

請求記号	名称	学名	年代	製作元	数量	備考	画像データ
(15) A 1	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>			1	頭骨	●
(15) A 2	スズキ	<i>Lateolabrax Japonicus</i>		柴山自然科学研究所	1		●
(15) B 1	カエル		1981年7月	TADAO SONOYAMA	1	分解標本(全体)	
(15) C 1	アオダイショウ	<i>Elephe climacophora</i>			1	肋骨225本	●
(15) C 2	インガメ	<i>Clemmys japonica</i>		柴山自然科学研究所	1		●
(15) C 3	トカゲ			柴山自然科学研究所	1	劣化が激しい	
(15) D 1	トビ	<i>Milvus migrans</i>			1	頭骨	●
(15) D 2	ニワトリ			柴山自然科学研究所	1		●
(15) E 1	アナウサギ	<i>Oryctoeagus Cuniculus, uar.</i>		柴山自然科学研究所	1	ウサギ目ウサギ科の動物。1属1種。ウサギ科は、ノウサギ類とアナウサギ類(ラビット)に大別される。ノウサギ類は茂みなどで寝るが、アナウサギは地中に大規模な巣穴を掘り、集団生活をする。飼いうサギの全品種はアナウサ	●
(15) E 2	ウサギ	<i>Lepus cuniculus, L.</i>		柴山自然科学研究所	1	頭骨	●
(15) E 3	ドブネズミ	<i>Rattus norvegicus</i>			1		●
(15) E 4	イシイルカ	<i>Phocoenoides dalli</i>		柴山自然科学研究所	1	クジラ目ネヅミルカ科の海獣。北太平洋の北部全域に生息する。日本では冬に三陸沖に回遊してくる。	●
(15) E 5	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>		柴山自然科学研究所	1	頭骨	●
(15) E 6 1	シカ	<i>Cervus Sika, Tem.</i>		柴山自然科学研究所	1	頭骨	●
(15) E 6 2	シカ	<i>Cervus Sika, Tem.</i>		柴山自然科学研究所	1	頭骨	●
(15) E 6 3	シカ(雄)	<i>Cervus Sika</i>		柴山自然科学研究所	1	頭骨	●
(15) E 7	ジュゴン	<i>Dugong dugon</i>		柴山自然科学研究所	1	カイギョウ目カイギョウ科の動物。1属1種。南西太平洋・インド洋・アフリカ沿岸の浅海域に分布。1対の乳房があり、授乳する姿があたかも子供を抱いている母親を思わせることから、人魚はジュゴンを見間違えたものとする説	●
(15) E 8	アブラコウモリ	<i>Pipistrellus abramus</i>			1	いわゆるイエコウモリ。最も身近に見ることができるコウモリ。	●
(15) E 9	アライグマ	<i>Procyon Iotor.</i>		柴山自然科学研究所	1	頭骨	●
(15) E 10 1	家猫	<i>Felis catus</i>			1	頭骨、分解標品	●
(15) E 10 2	家猫	<i>Felis catus</i>			1	頭骨	●
(15) E 11	虎	<i>Panthera tigris</i>		柴山自然科学研究所	1	頭骨	●
(15) E 12	熊	<i>Ursus torquatus, Schinz</i>		柴山自然科学研究所	1	頭骨	●
(15) E 13	カンガルー属の一種	<i>Macropus sp.</i>			1	かつてはイヌの骨格が入っていた箱を再利用した模様。	●

(15) 骨格標本

画像データ欄の「●」は、アーカイブ名「骨格標本」に画像を掲載

請求記号			名称	学名	年代	製作元	数量	備考	画像データ
(15)	E	14	キツネザル科の一種	<i>Lemuridae</i>			1	我々ヒトを含む霊長類は、原始的形態を色濃く留めている原猿類と、ニホンサルやヒヒなどの真猿類に分かれるキツネザル科は原猿類に属し、マダガスカル島に分布する。	●
(15)	E	15	台湾サル	<i>Macacus syslopis</i>		柴山自然科学研究所	1		●
(15)	E	17	ネズミザル頭骨				1	頭骨	